

南図書館ティーンズだより

—2026.春号—

世代別☆推し作家投票 結果発表！

南図書館では1/17~2/15の間、皆さんの世代別に、好きな作家、「推し作家」に投票していただく「世代別☆推し作家投票」を実施しました。

10代（未満も含む）はどの作家が人気だったのか、結果を発表します！

1位 ヨシタケシンスケ

理由：「字が、えんぴつか、ペンでかいたみたいです。」

「おもしろいからまたあたらしいのをつくってほしいから。」

以下同票のため順位は付けずにご紹介します！

・凧良 ゆう

理由：「流浪の月が好きな本の1つです。実写化の方も見てみたいです。」

・夏目 漱石

理由：「話題がおもしろい(坊っちゃん) 大正時代の話 想像しやすい」

・たかぎ なおこ

理由：「おもしろいことばや絵がすきだからこの人にしました」

・大空 なつき

理由：『世界一クラブ』の作者で、内容が面白いからです。」

・南房 秀久

理由：「好きになったきっかけは学校図書館でトリシアシリーズを読みはじめたことです。それから南房さんの本を読みはじめたのですが、シリーズものによくある一つの目的について考えるのではなく、その巻で、その問題が解決するので。」

・田伊 りょうき

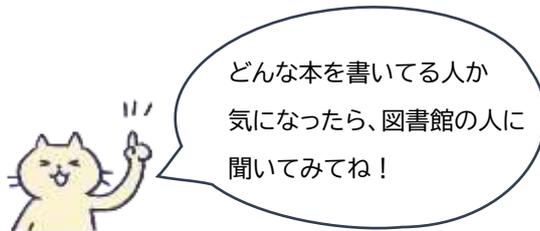
理由：「むずかしい所などを、わかりやすく、説明しているからです。(きつぱでGo!)」

・東野 圭吾

理由：「どのミステリー作家もそうなんですけど、どの作品も犯罪の手順や動機がおもしろいからです。個性的なトリックがたくさんあって、どの作品もドキドキします。」

・さくら ももこ

理由：「ちびまるこちゃんが大すきで、いろいろまんがをよむだけで、じかんのつかいかたやせいりせいとんなど、ふだんのせいかつにいかすことができて大事なことがたくさんかいてあるから。」



どんな本を書いている人が
気になったら、図書館の人に
聞いてみてね！

皆さんの推し作家はランクインしていましたか？

この機会に今まで読んでことのない方にもチャレンジしてみたいかがでしょうか。

今回のテーマは、「部活」です！
ティーンズコーナーから、おすすめの本を紹介します！

『幕が上がる』 平田 オリザ／著 講談社

地区大会どまりの高校演劇部に、新しい顧問の先生がやってきた。県大会出場を目標にしている部員たちに先生は、全国大会を目指そうと提案してくる。

同級生たちが受験に恋に忙しい中、演劇にすべてを捧げた演劇部員たちの高校三年の約7か月を描いた物語。

彼女たちが作りあげた最終幕の先にある結末やいかに。



『グラウンドの空』 あさの あつこ／著 KADOKAWA

やましろみずき
山城瑞希は甲子園を夢見る中学二年生。しかし、致命的なことに、
や すもり
八頭森東中学校野球部にはピッチャーがない。このままでは全国大会どころか地区大会も厳しい。

そんなある日、神奈川からさくらとうや作楽透哉という少年がやってくる。透哉の球を受けた瑞希は、彼のピッチャーとしての才能を確信し、自分とバッテリーを組んで甲子園を目指そうと提案する。

しかし透哉は、とある理由で野球を辞めていた。



新しくいった本

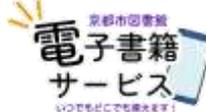
- ・『君につながる古典教室』 佐藤 透／著 文学通信
- ・『君の火がゆらめいている』 落合 由佳／作 講談社
- ・『わたし、声優になりたい!』 千馬 ヒロキ／著 空地／絵 Gakken
- ・『13歳からの家族の研究』 白井 千晶／著 かもがわ出版
- ・『ユリの便箋』 森川 成美／作 静山社
- ・『高等専門学校 中学生のキミと学校調べ』 池田 亜希子／著 ぺりかん社
- ・『日向丘中学校カウンセラー室 3 向こう側も卒業式』 まはら 三桃／著 めばち／装画 アリス館



本を借りるには・・・

「図書館カード」が必要です。図書館カードは、京都市の図書館全館共通です。まだカードを持っていない人は、住所を確認できるもの（生徒手帳など）を図書館に持参して申し込んでください。

(公財)京都市生涯学習振興財団 京都市南図書館
〒601-8011 京都市南区東九条南山王町 5-5 Tel. 691-6888
開館時間：平日午前9時30分～午後7時
土日祝日9時30分～午後5時
休館日：火曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)
年末年始(12月29日～1月4日)



スマホ・タブレットで本を読もう!
どうやって使うの?どんな本があるの?



<https://web.d-library.jp/kyotocity/>